

2026年度 定期総会開催

実施日：2026年6月6日(土)



二松学舎大学 父母会報

平成5年5月10日創刊
令和8年7月31日発行
(第133号)

二松学舎大学父母会
(本部・事務局)
東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞広常吉先生書



二〇二六年六月六日(土) 午後一時三十分より、九段一号館二〇二教室において、二〇二六年度二松学舎大学父母会定期総会が開催された。
総会に先立ち、二松学舎大学手話サークル「架け橋」による講演が行われた。

午後二時四十分、反町香理氏の司会により総会が開始され、武石智実父母会長、佐藤晋学長の挨拶の後、古木幸江議長により議事を進行了た。

第一号議案の二〇二五年度事業報告並びに決算については、審議の結果、原案のとおり承認された。

第二号議案の二〇二六年度役員選出については、新会長に宮下りさ氏、会計監査に山田則子氏と北優子氏が決定した。

第三号議案の二〇二六年度事業計画ならびに予算については、審議の結果、それぞれ原案のとおり承認された。

議事終了後、二〇二五年度で役員を退任した武石智実氏、小平由紀子氏、矢島佳保里氏の三名に佐藤学長から感謝状が贈呈され、本総会は無事に終了した。



※新父母会長より

「ご入学の慶びと、就任のご挨拶」

宮下りさ

九段下の駅から大学へと歩みを進めると、牛ヶ淵を覆うほどの蓮の花が楚々と咲き誇り、初夏の力強い陽射しに輝く季節となりました。新入生の保証人の皆様、二松学舎大学へのご入学、誠におめでとうございます。

歴代の皆様が築いてこられた由緒ある父母会の舵取りを任せられ、微力ながら会長という大役を引き受けする事となりました。皆様におかれましては日頃より父母会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、先日POP祭の準備を見学した際、新一年生がサークル活動の様子を説明してくれました。入学間もないのにすっかり大学生らしく、堂々とした姿を本当に頼もしく感じました。

我が子が新たなステージに立った今、親の役割も大きな転換期を迎えます。これまでは近くでまっすぐ前へと導くことが中心でしたが、これからは一歩下がり、自らの足で歩む姿を信じて見守る時期に入ります。私自身、「口を出さ

ずに見守る」難しさ、「自立していく過程を見つめる」喜びを実感しています。大学生活は多様な価値観に触れ自分のキャリアと向き合いながら将来の選択を重ねていく大切な期間、学生たちが健やかに過ごせるよう父母会は活動しています。

活動は大きく分けて三つです。一つ目は学びや生活への援助です。教員・公務員採用試験、様々な資格試験等の合格者への奨学金、サークル助成、学生応援弁当の提供を通じサポートしています。二つ目は大学行事への支援です。就職指導や新入生歓迎式典などに対し助成し、行事の活性化を支えます。

最後は保証人同士の交流と情報共有です。現在、地区別懇談会の準備を進めています。知り合いがいらないからと躊躇せず、ぜひ私たちに会いに大学へ足を運んでいただくと幸いです。

皆様にお会いできることを心より楽しみにしています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

※新役員紹介※※※役員に就任して

※加藤 佳恵（かとう よしえ）

今年度より、父母会役員を務めさせていただくことになりました。皆様のご協力を賜りながら、学生の皆さんがより良い学生生活を送れるよう、お手伝いができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

※酒井 紀乃（さかい きの）

長年にわたり、父母会役員の皆様が、学生一人ひとりの教育環境のためにご尽力いただいてきましたことに深く敬意を表します。その活動に微力ながら携わらせていただけますこと、光栄に存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

※高橋 昌代（たかはし まさよ）

息子は英検の試験会場として本学を訪れた際に高層階のキャンパスが珍しく印象に残ったそうです。私の価値観は浅はかで、有名大学進学に誇れる進路。しかし、息子が選択した学び舎を知り、その価値観に共感できました。本学で学べることを幸せに思います。

※滝澤 真由美（たきざわ まゆみ）

このたび父母会の役員をお引き受けすることになりました、滝澤真由美と

申します。

子どもたちが楽しく安心して学生生活を送れるよう、皆さんと一緒にお手伝いできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

※富山 直子（とみやま なおこ）

本年度より父母会の役員を務めさせていただくことになりました、国文科一年の富山と申します。

子供達がより良い大学生活を送れるよう、父母会の活動を通じてサポートできればと思います。微力ではありますが精一杯努めてまいります。よろしくお願いいたします。

※山下 明子（やました あきこ）

はじめまして。このたび父母会役員として参加させていただくことになりました。

皆様と力を合わせながら、学生および保証人の皆様の声を大切に、大学との懸け橋になれるよう活動に取り組んでまいります。円滑な運営に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2026年度役員一覧

役職	氏名
会長	宮下 りさ
副会長(学務局長)	須藤 和敬
副会長	都世子恵子
会計監査	山田 則子
会計監査	北 優子
会計	杉本 洋子
	古木 幸江
	鈴木さやか
	反町 香理
	加藤 佳恵
広報	菊地 都美
広報	小林 圭子
	酒井 紀乃
	高橋 昌代
	滝澤真由美
	富山 直子
	山下 明子

こ
あ
い
さ
つAI時代における
「人文知」の重要性

理事長 水戸英則



新入生の皆さんをお迎えしてから早三ヶ月が経ちました。父母等保証人の皆様におかれましては、お子様のこれからの学生生活に大きな期待を寄せておられることと存じます。

今、世界は「AI革命」の渦中にあります。生成AIの急速な発展によりもたらされた、この激動の時代において、どのような教育を提供し、未来を担う人材をどう育成すべきか。来年一五〇周年を迎える本学は、今こそ創立期の原点に立ち返り、「人文知」の価値を改めて問い直す必要があると考えています。

本学が掲げる「人文知」とは、歴史・文学・哲学等の学びを通じて人間とは何かという普遍的な問いを探究し、政治や経済の仕組みを学び、

社会のあるべき姿を考察することで得られる人間への深い理解と総合的な知恵や教養のことです。AIは膨大なデータを処理し、効率的な答えを導き出すことに長けていますが、人が真に幸せになるための倫理的な判断を下すことはできないのです。

だからこそ、社会を正しい方向へ導くリーダーには、人間理解に基づいた確かな倫理観が不可欠です。先人たちの知恵に触れ、人間としての知性・感性を磨く「人文知」こそが、AIの出す答えに対して「それは本当に人を幸せにするのか？」と問いかける、決して揺らぐことのない心の羅針盤となります。

現在本学では、創立一五〇周年を記念する新たな指針として、次期長期ビジョン「N2040 Plan」策定の検討を開始しております。AI社会における「人文知」の価値を最大化するため、教育研究の「質」の向上を最優先とし、一五〇年の歴史で培った人間力を核に、自らの頭で考え抜き、新たな価値を創造できる人材の育成を目指して、教職員一丸となり取り組んでまいりる所存です。

皆様には、本学の教育方針をご理解いただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

適材適所と質の向上

学長 佐藤 晋



先日、二〇二五年の国勢調査の人口速報値が公表され、日本はそれまでの五年間で三百万人以上減少したことが明らかになりました。これはここ数十年続いている少子高齢化が招いた結果であり、今後は一層の年少人口・生産年齢人口の減少が生じることが確実です。しかし、長い目で見ると人口やその年齢構成が一定であった社会は存在せず、どの時代のどの国でも人口増加や減少の問題に頭を悩ませてきました。戦間期のフランスは隣国ドイツとの相対的な人口格差に悩み、日本では人口増加が大陸進出の一因となりました。また、中国では一人っ子政策を採用したことが今後の経済縮小をもたらすと憂慮されています。つまり、世界は常に人口変動の問題に対して何らかの対応に迫られてきたということです。

それでは、今後日本はどのような

対策を取るべきでしょうか。これには先日のサッカーW杯での日本代表の活躍が参考になるでしょう。ここ十年で日本のサッカー人口はかなりの減少を示していますが、それに反比例するように日本代表は強さを増しています。この背景には、サッカーに適性があり運動能力が高い若者に、海外経験を積ませることも含めて高度な訓練を行うことによる個のレベルアップということがあってはならないでしょうか。こうした視点で社会全体に目を向けると、いわゆる適材適所による個の強化の実現が必要であることが分かります。

これを教育に置き替えると、中等教育段階においては、文系理系等の進路選択の際に性別や経済的理由によって選択の幅を狭めることなく、各個人が適性に沿った進路選択を行えるようにし、大学においてはそれらの適性に合わせて社会的に必要度の高い職業人を育成するためのカリキュラムを充実させるなど、それぞれの教育段階において質を向上させることが重要となります。来年創立一五〇周年を迎える本学もこれまで同様、社会的ニーズにそった人材の育成を心がけ、これまで以上に質の高い教育を行うことで、若者の能力の高度化を実現したいと考えています。



大学に 入学して

実施日：二〇二六年四月三日(金)



大学に入学して

文学部国際日本・中国学科

佐々木 音 寧

新緑の季節が過ぎ、日に日に夏の暑さが本格化する頃を迎えた。

私はかねてより文豪・夏目漱石の作品をこよなく愛読してきた。そのため、漱石先生が若き日に漢学を修め、今なお豊かな学問の伝統が息づくこの二松学舎大学に入学できたことに、深い喜びと誇りを感じている。昨今、「推し活」という言葉が広まっているが、私にとっては本学で学ぶことが「推し活」である。

現在は文学部国際日本・中国学科に在籍し、中国語、中国文学、そして日本文学という多角的な視点から、両国の文化や言語についての着実な学びを深めている。

実は私の母が中国の出身であり、本学で中国語を学ぶことには一際強い思い入れがあった。大学での学びが始まってから未だ日は浅いものの、諸先生方の熱心なご指導のもとで日々語学に励み、最近では母方の親戚とも少しずつ会話を交わせるようになってきた。自らのルーツに触れながら、目に見える成長を実感できることは大きな喜びである。

二松学舎という歴史ある恵まれた環境の中で、己の知性を磨き、これからの人生をより一層充実したものにしていきたい。



文学部都市文化デザイン学科

渡邊 真央

九段の桜も青葉へと姿を変え、春から夏への季節の移ろいを感じる頃となりました。入学してからの日々はあつという間に過ぎましたが、入学式の日のことは今でも鮮明に思い出されます。

入学式での水戸英則理事長先生のお言葉から、二松学舎が明治十年、西洋化が進む変革期に創立され、創立者である三島中洲先生が、時代の渦中で東洋の精神文化の重要性を訴えられたことを知りました。社会の価値観が大きく揺れ動く今、二松学舎で学ぶことには特別な意味があるように感じました。

授業では、都市や文化、メディア、社会のあり方を学び、日常の風景や人々の価値観にも、その時代の精神が表れているのだと感ずるようになりました。伝統を学ぶことは過去に戻るのではなく、激動する現代を自分の目で見つめ、これからの社会を考えるための礎になると思います。

皇居や靖国神社に近く、日本の歴史と精神を感じる九段の地で学べることを大変嬉しく思います。二松学舎での学びを深め、変化の激しい時代の中でも、自分の考えを持って社会と向き合える人間へと成長していきたいです。

大学に入学して

国際政治経済学部国際経営学科

佐藤 穂乃香

この春、地方から上京し、何から何まで新鮮な大学生活も、気づけば三か月が経とうとしています。初めての一人暮らしや慣れない都会の生活に最初は戸惑うこともありましたが、しかし今では毎日の授業と、新しく入ったサークル活動の両立に励む日々を送っています。また、早期化している就職活動に向けて、インターシップや企業説明会へ積極的に参加しています。本学は都心の中心に位置しており、どこへ赴くにもアクセスが良く、能動的に動く上でこれ以上ない恵まれた環境だと実感しています。学内での学問にとどまらず、この立地の良さを活かして学外の実社会へも視野を広げ、国際経営の視点を肌で体感できることは、私にとって大きな刺激となっています。大学生活の四年間をどう過ごすかは自分次第です。「時は待つてくれない」からこそ、変化を恐れず、自らチャンスをつかみに行く姿勢をこれからも大切にしていきたいです。挑戦を支えてくれるこの環境への感謝を忘れず、仲間と共に切磋琢磨しながら、自立した人間として大きく成長できるよう、一日一日を全力で駆け抜けていこうと思います。

新入生歓迎式典 2026

実施日：2026年4月12日(日)



国際政治経済学部国際政治経済学科三年

峯 嶋 樹 音

新入生歓迎会2026（以下新歓）の責任者を務めさせていただきました、学生会執行委員会会長の峯嶋と申します。

さて、今年のコンセプトは「入学という始まりを、それぞれが自分の『暁』へと向かう出発点と捉える。朝の光を想起させ、新たな一歩とその先にある達成の瞬間を重ねる」とし、テーマを「暁（あかつき）」と決めました。学生会執行委員会では、新入生の皆さまが安心して大学生活をスタートできる場となるよう、準備と検討を重ねてまいりました。新歓を盛り上げるための施策の一つとして、各参加団体のアピールポイントをパンフレット『一期一会』に掲載しました。また、参加団体を巡りながらスタンプを集め、景品と交換できるスタンプラリー企画を実施し、多くの団体の魅力に触れていただける機会を設けました。今年度は授業期間中の日曜日での開催となったため、どれほどの方にご来場いただけるか不安もありました。しかし、そのような状況にもかかわらず非常に

新入生歓迎式典2026

多くの新入生の皆さまにご来場いただき、会場は終日大きな賑わいを見せました。新しい仲間や活動との出会いのきっかけとなる場を提供できたことを、大変嬉しく思っております。運営を通して多くの反省点もありましたが、それ以上に役員一人ひとりの成長を感じることができました。また、新入生の皆さまを笑顔で迎え入れることができ、コンセプトとテーマに沿った活動を実現できた実感しております。

今年の秋十一月には、本学最大の行事である「創縁祭」の開催を予定しております。創縁祭は、学生・教職員・地域の皆さまとのつながりを深め、多くの「縁」を生み出す大切な行事です。新歓で得た経験を生かしながら、より多くの方楽しんでいただける創縁祭を目指してまいります。

新たに加わった役員と共に、より一層力を合わせて役員一同より良い大学づくり努めていきます。今後とも学生会執行委員会へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

POP 2026

実施日：2026年6月14日(日)



国際政治経済学部国際政治経済学科三年

吉川 由夏

九段祭POP2026責任者を務めさせていただきました。国際政治経済学部国際政治経済学科三年の吉川と申します。今年度も文化団体が日頃の活動の成果を発表する学内向けの文化祭として六月十四日(日)に学生会執行委員会が主催となり、九段祭POP2026を九段キャンパスにて開催いたしました。「蒼光(そうこう)」というテーマ、「何気ない日々の中で胸をよぎる想い。揺らぎながらも消えないその光を辿り、不確かな今を越えて未来へ。蒼く静かに力強く。この瞬間にしか描けない、自分だけの光をここに刻もう。」というコンセプトを掲げ、今年度の九段祭POPに携わる皆様が存在に楽しめるような行事にしたいと役員一同、準備を進めてまいりました。

今年度も多くの団体に参加していただき、どの団体も当日に最高の発表が行えるように準備している様子が見受けられました。我々学生会執行委員会も新たに一年生が入会し新体制で一丸となり、満足のできる発

POP2026

表が行えるよう協力させていただきました。また、教室や中洲記念講堂での発表は団体・来場者という垣根を越え双方が楽しむことができたのではないかと存じます。学生会執行委員会では毎年恒例となっているピング大会と、参加していただいた方が楽しめるように「発見!二松スタンプラリー」「9割が間違える?!見破れAI画像クイズ」「二松昇降ウルトラクイズ」という三つの企画を準備いたしました。来年度以降への課題は見受けられましたものの、どの企画も来場者の皆様の思い出のひとつになれていれば幸いです。

今年度は昨年よりも多くの来場者の皆様にお越しいただきました。参加していただいた団体の皆様、九段祭POP2026に足をお運びくださった皆様のご尽力のおかげで今年度も無事九段祭POPを開催することができました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。来年度以降も役員一同団結してより多くの来場者の皆様に満足していただけるような九段祭POPを目標に精進していきたく存じます。今後とも学生会執行委員会を何卒よろしく願っています。

●新卒採用の早期化

新卒学生の就職活動は大学四年生になる直前、大学三年生の三月一日から情報解禁になります。しかし、実質的な就職活動は大学三年生の夏ごろに始める学生が多いのが現状です。

すると、就職活動を意識せず「学生生活」に専念できるのは大学一年生と二年生の実質二年間。思ったよりずっと少なく感じると思います。

特に一年生は「やれやれ、大学受験を終えやっと入学したのにもう就職の話？」と、理不尽さに憤慨したくなるかと思えます。

しかし、就職活動の準備として、なか「特別なこと」をしなくてはならないわけではありません。

むしろ、大学一年生・二年生の学生には、二年間の学生生活をとにかく充実させてほしいと考えています。

就職採用選考で必ず聞かれることは、「学生時代に力を入れて取り組んだこと」通称「学ちか」です。

企業は学生時代の体験談やエピソードを聞き、入社後活躍してくれる可能性があるかを判断

します。

体験談やエピソードはすぐに作れるものではありません。

もちろん、就職活動のために何かに取り組むのは本末転倒ですが、何でもよいので何かに一生懸命に取り組む、充実した学生生活を送ることが結果的には就職活動に最も役立つことです。

学業はもちろんのこと、アルバイト、サークル、ボランティア等、なんでも良い

のです。なにかに夢中になり学生生活を充実させていただければと思います。

アー
リタ
リ
キャン
よ
キセ
だ

83

キャリアセンター事務課 三浦 千恵

選考状況が早期化している現状に合わせ、キャリアセンターでは先生方と連携し「キャリアセンター出前授業」と称し、大学一年生時に講義内で就職活動のことやキャリアに関する情報提供を行っています。

また、大学三年生時には春と秋に全員面談を実施し、進路に関し、意識してもらおう仕組みも用意しています。

進路についてご不安なことがありましたらキャリアセンターにご相談いただけるよう、ご子息ご息女にお伝えください。

この便りがお手元に届く頃は、

夏休みが始まったところでしょうか。春学期が終わり、一息つかれている方、夏休みの計画を立てている方、色々な過ごし方をされているのではないかと思います。大学の夏休みは長く、これから、一か月以上の休みに入ります。社会人になってみると、あんなに長く休みを経験できることはそうそうないな、と実感しています。

学 生 相 談 室

だ よ り 133

カウンセラー 濱田祥子

と、長い休みの間にアルバイト、旅行、自動車学校、インターンシップなど、多くのことを経験し、大きく成長した姿に接します。そんなとき、自分が休み前に感じた心配は杞憂だった、と安心します。長い休みは授業があるときには経験できない、多くのことを経験する時間を学生に与えてくれ、

その時間を通して皆、大きく成長します。

普段いる場所から離れることは、いつもとは違う方法で自分を知る機会でもあり、成長を促す意味を持つようです。

御父母の皆様には、ぜひ、学生の特権である、長い休みを満喫できるよう、見守っていただければと思います。

秋学期が始まったときに、遅しなかつた姿と会い、休みの間の話を聞けることを楽しみにしています。

夏休みが終わり、学生に会う

いも感じていきます。



2025年度事業報告並びに決算

〈1〉 2025年度事業報告

概 要

2025年度二松学舎大学父母会の会員数は、2025年度入学者文学部514名・国際政治経済学部293名計807名、文学部・国際政治経済学部編入学生（3年次生）9名を新たに会員として迎え、2025年5月1日現在3,227名である。

2025年度は予算総額49,849,047円（前年度からの繰り越し金を含む）で、2025年6月7日（土）に行われた定期総会で承認された事業計画に基づき諸事業を推進してきた。

以下にその事業の概要を記載する。

1. 【地区別父母懇談会】

2025年度の地区別父母懇談会は、6月28日（土）に茨城県水戸市（水戸三の丸ホテル）、7月5日（土）に群馬県高崎市（ホテルメトロポリタン高崎）、8月2日（土）に九段校舎（中洲記念講堂）において開催した（九段校舎のみライブ配信併用）。また、希望者による教職員との個別相談も実施した。

大学からは学長、副学長、文学部長、国際政治経済学部長、学務局長、文学部・国際政治経済学部各教員はじめ学務局（学生支援課・教務課及びキャリアセンター）の職員が出席し、懇談を通して大学教職員と会員（父母）との相互理解を図ると同時に、大学の現状、学生の大学生活及び就職の実情、単位修得等勉学の状況及び父母会の活動について説明を行った。

2. 【教育研究振興助成】

2025年度の教育振興助成は、2025年8月と2026年2月に実施した海外語学研修（8月：韓国・台湾・アメリカ・イギリス・フィリピン、2月：韓国・台湾・マレーシア・オーストラリア）の職員の引率に対し、旅費の一部を助成した。

他に、「ES実践講座」・「日本語検定」・「SPIテストセンター対策講座」等への助成、新入生教育助成として『学生生活スタートブック』のWeb版を購入しURLやQRコードにより配布した。

3. 【課外活動助成】

書道部に会場借用費・ポスター印刷費、劇団こんにちはシアターに会場借用費のほか、手話サークル架け橋への助成を行った。

学生顕彰として、19名の学生・1つの団体に奨励金を支給した。助成は、「課外活動団体助成費取扱い要領」及び「学生顕彰取扱い要領」に基づき、実施している。

4. 【大学行事等への助成】

4月に開催した新入生歓迎式典に際し、新入生への来場記念品として本学オリジナルパッケージのソフトキャンディーを学生会執行委員会が作成・配布し、その費用を助成した。また創縁祭では、学園祭実行委員会からの援助願に基づき、費用の一部を助成した。

5. 【卒業記念パーティー】

2026年3月17日（火）に東京ドームホテル地下1階「天空」で実施した。

6. 【卒業記念品】

卒業記念品として卒業アルバムを贈呈した。

7. 【奨学金】

学生の資格・能力取得育英を目的に、指定した資格取得や教員・公務員等各種採用試験合格者等68名に対して奨学金を支給した。

8. 【弔慰金・災害見舞金】

2025年度の弔慰金・災害見舞金については、学生及び会員（父母）4件に対し行った。「父母会弔慰金並びに災害見舞金取扱い要領」に基づいて実施している。

9. 【父母会報の発行】

2025年度は、第128号（2025年3月31日）、第129号（2025年7月31日）、第130号（2025年10月20日）、第131号（2026年1月31日）の計4回発行した。

10. 【外国人留学生支援に関する助成】

2025年11月3日（月・祝）に外国人留学生との懇親会を開催した。

【特別事業費】

1. 〈営繕助成等〉

観葉植物設備（九段1号館・3号館・4号館のエントランスや共用スペースに配置及び手入れ）補助・大学施設の補修等に対する助成をした。

2. 〈就職指導支援費〉

キャリアセンターの就職支援活動に対して助成した。

3. 〈事業積立金〉

事業積立金は、法人・大学の記念事業推進に協力するため、1993年度より特別会計として積み立てを開始し、周年事業等に予算執行してきた。

4. 〈創縁祭参加費〉

創縁祭の参加経費。2025年度は父母会運営の無料喫茶室を出店し、その費用として支出した。

5. 〈食育に関する助成費〉

2025年度は学生応援弁当販売による食育活動を実施し、松苓会との共同で、その費用の一部を助成した。

【予備費】

今年度は、以下の2点を予備費から支出した。

1. 九段キャンパス3号館および4号館に、学生証で印刷ができる「二松プリントシステム」に対応したプリンターを設置（2025年4月より稼働）。
2. 女子学生の衛生向上の一助とすべく「トレルナ（生理用品無料提供システム）」を1・3・4号館の女性用トイレに設置（2025年5月より稼働）。

○ 〈学生金庫基金〉

現金が緊急に必要となる学生のために、1回につき1万円を無利子で貸し出し（貸し出し期限1カ月）便宜を図っている。

○ 〈特別会計 事業積立金〉

父母会として二松学舎創立150周年事業にむけて、事業積立を行った。

収入の部

（単位：円）

項 目	予算額①	決算額②	比較増減①-②	記 事
1 繰越金	16,888,047	16,888,047	0	前年度繰越金
2 父母会費	32,460,000	32,460,000	0	新入学生4万円×（文学部514名+政経学部293名） 編入学生2万円×（文学部8名+政経学部1名）
3 助成費	500,000	500,000	0	大学からの卒業パーティ助成
4 雑収入	1,000	76,084	△ 75,084	受取利息、卒業記念パーティー会場費返金、祝金
合 計	49,849,047	49,924,131	△ 75,084	

支出の部

項 目		予算額①	決算額②	比較増減①-②	記 事
事業費	1 地区別懇談会費	3,300,000	3,295,534	4,466	運営費用（ライブ配信、個別相談会）他
	教育研究振興助成	0			
	教員の海外研修助成費	600,000	600,000	0	教員 2 名の海外研修への助成
	海外研修引率者助成費	500,000	500,000	0	海外語学研修学生引率教員の旅費の一部助成
	就職指導支援経費	500,000	223,300	276,700	SPI、ES対策講座等キャリアセンターの就職指導助成
	新入生教育助成費	200,000	200,000	0	「学生生活スタートブック」購入経費
	小 計	1,800,000	1,523,300	276,700	
	課外活動助成	0			
	課外活動活性化助成費	500,000	500,000	0	課外活動実施に伴う経費の一部助成
	課外活動団体助成費	300,000	120,000	180,000	学外発表会等を実施した団体への助成
	学生顕彰費	100,000	79,000	21,000	個人・団体の大会優勝者など大学で推薦する者への表彰費用助成
	小 計	900,000	699,000	201,000	
	4 大学行事等への助成費	1,200,000	995,700	204,300	新歓式典・学園祭など大学行事・学生会主催行事への助成
	5 卒業記念パーティー	10,000,000	9,868,000	132,000	卒業パーティー運営経費
	6 卒業記念品	4,200,000	4,040,190	159,810	卒業アルバム作成経費
	7 奨学金	5,500,000	5,610,000	△ 110,000	成長支援型（資格・能力取得育英）奨学金
	8 慶弔費・災害見舞金	200,000	40,000	160,000	学生・父母及び専任教員の死亡に対する供花料及び災害見舞金
	会報発行	0			
	9 印刷・制作費	1,200,000	942,980	257,020	父母会報年 4 回発行、128～131号
	送 送 費	1,600,000	1,838,298	△ 238,298	会報発送 128～131号
	小 計	2,800,000	2,781,278	18,722	
10 外国人留学生支援に関する助成費	300,000	300,000	0	外国人留学生の学習活動等への支援	
事業費合計	30,200,000	29,153,002	1,046,998		
運営費	11 通信費	700,000	633,087	66,913	総会資料等発送費、はがき・切手等
	12 印刷費	700,000	597,630	102,370	定期総会資料の印刷・製本、返信はがき・封筒等の印刷費
	13 会議費	700,000	637,912	62,088	定期総会・役員会等
	14 交通費	380,000	164,600	215,400	役員会等へ出席する役員の交通費
	15 消耗品費	50,000	11,730	38,270	事務用品等購入経費
	16 雑 費	120,000	125,096	△ 5,096	振込手数料、その他
	運営費合計	2,650,000	2,170,055	479,945	
特別事業費	1 営繕助成費	300,000	300,000	0	施設の緊急を要する補修及び観葉植物設置補助等
	2 就職指導支援経費	3,000,000	2,561,140	438,860	キャリアセンターの就職指導（キャリアカウンセラー等委託費）助成
	3 事業積立金	2,000,000	2,000,000	0	大学における特別事業への支援のための積立
	4 創縁祭参加経費	410,000	256,887	153,113	創縁祭参加関連、喫茶室運営経費
	5 食育に関する助成費	972,000	1,058,400	△ 86,400	学生応援弁当助成
	予 備 費	10,317,047	2,332,204	7,984,843	学生利用プリンター設置費、トレルナ設置運営費
合 計		49,849,047	39,831,688	10,017,359	
差引残高（次期繰越金）		0	10,092,443	—	

2026年度事業計画並びに予算の概要

【経常費】

1. 〈地区別父母懇談会〉

2026年度の地区別父母懇談会は、8月頃に九段キャンパス中洲記念講堂にて、2025年度同様オンライン併用のハイブリッド式の懇談会を実施する。また、地方での開催も実施する予定（候補地：福岡県）。

内 容

- ・大学の現況報告
- ・学生生活・学習状況・就職状況についての説明
- ・個別相談等
- ・その他

2. 〈教育研究振興助成〉

(1) 教員の海外研修に対する助成

教員の海外研修旅費の一部を助成する。

(2) 海外研修学生引率者助成

2026年度も中国語圏・英語圏・韓国語圏での語学研修が予定されているので、その旅費の一部を助成する。

(3) 就職指導支援経費

キャリアセンターが行う学生の就職活動支援事業に助成する。今年度は、「SPI対策講座」「日本語検定」「就職筆記対策」「就職活動中の支援」等の経費を助成する。

(4) 新入生教育助成

大学で発行している学生生活の手引『キャンパスライフ』を補完するものとして、『学生生活スタートブック「学生生活は危険がいっぱい2026年度版」』、『同ネット編』（電子ブック）を購入し、新入生全員にURLやQRコードにより配布する。

3. 〈課外活動助成〉

学生のクラブ・サークル等課外活動の実施に伴う経費の一部を助成する。

(1) 課外活動活性化助成

課外活動団体の練習時間の延長、及び休日に行う対外試合等によるスクールバスの運行等経費の一部を助成する。

(2) 課外活動団体助成

クラブ・サークル等課外活動団体の活動費（全国大会出場経費の一部、学外発表会経費の一部等）を「課外活動団体助成費取扱要領(内規)」に従い、助成する。

(3) 学生顕彰

ボランティア活動等の社会活動、国際交流、部活動で特に顕著な業績が認められる団体並びに個人を表彰するとともに奨励金を支給する。

4. 〈大学行事等への助成〉

学生団体が主催する「新入生歓迎式典」「学園祭（創縁祭）」等に経費の一部を助成し学生活動の活性化を図る。

5. 〈卒業記念パーティー〉

2026年度卒業記念パーティーを開催する。

6. 〈卒業記念品〉

卒業記念品として卒業アルバムを卒業生全員に贈呈する。

7. 〈奨学金〉

下記の奨学金を給付する。

二松学舎大学父母会成長支援型（資格・能力取得育英）奨学金

【対 象】 奨学金の受給資格は、大学の正規課程に在籍する学部生とし、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 公立学校教員採用試験合格者
- (2) 公務員試験合格者
- (3) 父母会が指定した資格の取得者

【給付額】 1万円～10万円（取得した資格や合格した試験に応じて）

【対象学年】 1～4年次

【申請時期】 当該年度11月

【他制度併用の可・不可】 可

8. 〈弔慰金・災害見舞金〉

「父母会弔慰金並びに災害見舞金取扱要領（内規）」に従い、会員（父母）・学生・専任教職員の死亡に対し弔慰金または供花をもって弔意を表す。さらに、火災や自然災害等で学生の自宅やアパート等が被災した場合は、災害の軽重に応じて見舞金を支給する。

9. 〈父母会報の発行〉

大学・父母会の現状、学生生活の状況を会員に伝えるための機関紙「父母会報」を、年間4回発行する。

10. 〈トレルナ運用にかかる経費〉

女子学生の衛生面向上の一助として、2025年度から設置・運用を開始した「トレルナ（生理用品自動給付システム）」について、ランニングコスト（月額22,000円）を負担する（今年度から経常費扱い）。

【特別事業費】

1. 〈営繕助成等〉

学生食堂等に観葉植物を設置する。校舎等における緊急を要する補修等に助成する。

2. 〈就職指導支援経費〉

キャリアセンターが行う学生の就職活動支援事業に助成する。

3. 〈事業積立金〉

事業積立金は、法人・大学の記念事業推進に協力するため、1993年度より特別会計として積み立てを始め、周年事業等に予算執行を行ってきた。2026年度は、100万円を計上する。

4. 〈創縁祭参加に伴う経費〉

本学園学祭「創縁祭」に父母会として無料喫茶ルームを運営するため、コーヒー、

紅茶及び茶菓等購入費用を計上する。

5. 〈食育に関する助成費〉

2016年度から「100円朝食」、2021年度から「学生応援ランチ」に助成しており、2022年度からは「学生応援弁当」に助成を行い、2023年度も同様に実施した。2026年度も引き続き「学生応援弁当（360円/食）」の助成を行う。

◇ 〈学生金庫基金〉

現金が緊急に必要な学生のために、1回につき1万円を無利子で貸し出し（貸し出し期限1ヵ月）便宜を図っている。本年度もこの制度を継続する。

収入の部

（単位：円）

項 目	予算額	記 事
1 繰越金	10,092,443	
2 父母会費	30,980,000	新入生4万円×772名（文508名+政264名） 編入生2万円×5名（文4名+政1名）
3 助成費	500,000	大学からの卒業パーティー助成
4 雑収入	20,000	受取利息、卒業パーティー祝い金、その他
合 計	41,592,443	

支出の部

目 項	予算額	記 事
事 業 費 常 費	1 地区別懇談会費	2,300,000 会場費、教職員等出張費、オンライン配信運営委託費等
	教育研究振興助成	
	教員の海外研修助成費	600,000 教員2名の海外研修への助成
	海外研修引率者助成費	500,000 海外語学研修学生引率教員の旅費の一部助成
	就職指導支援経費	230,000 SPI・ES対策講座等キャリアセンターの就職指導助成
	新入生教育助成費	200,000 「学生生活ハンドブック」購入経費
	小 計	1,530,000
	課外活動助成	
	課外活動活性化助成費	500,000 課外活動実施に伴う経費の一部助成
	課外活動団体助成費	150,000 課外活動団体への助成・全国大会出場助成・学外発表会助成等
	学生顕彰費	100,000 個人・団体の大会優勝者など大学で推薦する者への表彰費用助成
	小 計	750,000
	4 大学行事等への助成費	1,000,000 新歓式典・学園祭など大学行事・学生会主催行事への助成
	5 卒業記念パーティー	10,000,000 卒業記念パーティー運営にかかる経費
	6 卒業記念品	3,800,000 卒業アルバム作成経費等
	7 奨学金	5,000,000 父母会「成長支援型（資格・能力取得育英）奨学金」
	8 慶弔費・災害見舞金	100,000 学生・父母及び専任教職員の死亡に対する香典及び災害見舞金等
運 営 費	会報発行	
	印刷・制作費	1,000,000 父母会報年4回発行、132～135号
	発送費	2,000,000 父母会報発送 132～135号
	小 計	3,000,000
	10 トレルナ運用費	264,000 トレルナ運用にかかる経費
	事業費合計	27,744,000
特 別 事 業 費	11 通 信 費	650,000 定期総会資料等発送費、はがき・切手等
	12 印 刷 費	600,000 定期総会資料の印刷・製本、返信はがき・封筒等の印刷費
	13 会 議 費	650,000 定期総会・役員会等
	14 交 通 費	200,000 役員会等へ出席する役員の交通費
	15 消耗品費	15,000 事務用品等購入経費
	16 雑費	130,000 振込手数料、その他
予 備 費	運 営 費 合 計	2,245,000
	1 営繕助成費	300,000 学生施設の緊急を要する補修等及び観葉植物設置補助
	2 就職指導支援経費	2,600,000 キャリアセンターの就職指導（キャリアカウンセラー等委託費）助成
	3 事業積立金	1,000,000 大学における特別事業への支援のための積立
	4 創縁祭参加経費	300,000 創縁祭参加にかかる行事運営経費等
	5 食育に関する助成費	1,166,400 学生応援弁当の助成（@ ¥360×3,240食）
予備費		6,237,043 物価変動など不測事態対応等
合 計		41,592,443

2026年度 二松学舎大学父母会定期総会議事録

日 時：2026年 6月 6日(土) 13:30～16:05

会 場：九段1号館 2階 202教室

講 演：手話サークル～架け橋～

課外活動報告

西尾 優花(文学部3年 サークル長)

倉本 小雪(文学部3年 副サークル長)

会員数：本年度会員数 3,236名

出席者：委任状 946名

出席者 70名 合計 1,016名

大学側：佐藤晋学長、押野洋副学長、五月女肇志文学部長、
高岸直樹国際政治経済学部長、須藤和敬学務局長、中原敬二教学事務部長、
三島教学事務部副部長、菊地学生支援課係長、井上学生支援課員

1. 開会の辞 司会 反町 香理 氏

司会者から「本日総会時の会員数は、3,236名であり、父母会会則第9条により委任状を含めて5分の1(647名)以上の出席が必要であること、本日の出席者は70名、委任状は946名、合計1,016名であることから、本日の総会は成立する旨の説明があった。

続いて、武石 智実 父母会長、佐藤 晋 学長からそれぞれ挨拶があった。

2. 議長指名

司会者から、総会の議長は父母会運営細則により、会長または会長の指名する者となっており、会長から古木 幸江 氏が指名されているので、古木議長のもとで議事を進行させたい旨の説明があり、承認された。

3. 書記・議事録署名人指名

古木議長が書記及び議事録署名人として次の各氏を指名した。

書 記 都世子 恵子 氏

議事録署名人 菊地 都美 氏、小林 圭子 氏

4. 議 事

◇第Ⅰ号議案〈2025年度事業報告並びに決算〉

武石 智実 会長から、議案書に基づき概要説明があった。続いて、山田 則子 会計監査・杉本 洋子 会計監査担当役員から監査報告が行われた。

審議の結果、原案のとおり承認された。

◇第Ⅱ号議案〈2026年度役員選出〉

古木議長から、会則第6条・9条及び父母会運営細則第3条に基づき、総会において役員(会長・会計監査)を選出することとなっているとの説明があった。

古木議長から、大学側に候補者の氏名を発表してもらうのが慣例との説明があり、大学側(須藤和敬学務局長)から議案書の通り次の各氏が推薦された。

新 会 長 宮下 りさ 氏

新会計監査 山田 則子 氏、北 優子 氏

古木議長が大学側から推薦された各氏について出席の会員に諮ったところ異議なく承認された。

続いて宮下新会長より就任の挨拶があった。

◇第Ⅲ号議案〈2026年度事業計画並びに予算〉

宮下新会長から、議案書に基づき概要説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

議事終了後、下記の退任役員へ佐藤学長から感謝状が贈呈された。

武石 智実 氏、小平 由紀子 氏、矢島 佳保里 氏

5. 閉会の辞 司会 反町 香理 氏

閉会後に、202教室内で、意見交換の場を設けた。

2026年 6月 6日

議 長 古 木 幸 江 ⑩

議事録署名人 菊 地 都 美 ⑩

議事録署名人 小 林 圭 子 ⑩

書 記 都世子 恵 子 ⑩

二松学舎グッズのご紹介

佐藤学長で発案の二松学舎ロゴを施した特別仕様のゴルフボールを紹介します。
ダンロップの人気モデル「SRIXON TRI-STAR WHITE」を採用し、優れた飛距離性能、安定したスピン性能を兼ね備え、幅広いゴルファーにおすすめのモデルです。

卒業生の皆さまをはじめ、教職員、在学生、保証人の方々、そして本学を応援して下さる皆さまにご利用いただきたい記念アイテムです。

ご自身でのご使用はもちろん、ゴルフコンペの景品や贈り物としてもおすすめです。

詳しくはオンラインショップをご覧ください。

商品名：オリジナルゴルフボール

販売価格：1 ダース（3個×4箱）4,700円（税込）

1 カートン（3個入） 1,200円（税込）

【お問合せ先】 二松学舎サービス株式会社 TEL：03-3261-6921 MAIL：info@nishogakusha-s.co.jp



2026年度 父母会定期総会 ご質問・ご意見について

【問】 新年度の履修を考える時間をこれまで以上に学生に与えてほしい。可能であれば、秋学期の試験が終わってから春学期が始まるまでの期間で、なるべく長く融通していただきたい。

【答】 学生自身が新年度の時間割を検討するにあたっては、配布している履修要項のカリキュラム一覧・履修系統図等から、学修計画を立てることが可能です。シラバスは変更される可能性があります。当該年度のシラバスを参照してじっくりと検討してみてください。新年度のシラバス・時間割の発表については、毎年度調整・確認に膨大な時間を要する作業であり、確実な情報を学生に届ける必要があるため、3月中旬以降の発表を早めることは困難です。申し訳ございません。前述の検討に時間をかけることで、情報が発表された後の履修登録作業をスムーズに進めることができるかと思えます。

【問】 授業の合間に自習できるスペースを確保してほしい。

【答】 学内における自習スペースについては、学生の皆さまにご不便をおかけしているところですが、1号館の各教室前のスペースや地下2階の自習空間の増加等、学内の有閑スペースを極力活かすよう試みております。今後も、新規で取得した6号館等も含めて、自習スペースの拡充に努めてまいります。

【問】 学食の内容を改善してほしい。

【答】 社会的にも原油価格の高騰、食材費などの物価高や人件費高騰の影響は飲食業界に大きな影響を与えているところであり、大学においても同様でございます。ただ、それらマイナス要素の余波として質の低下は避けていきたいところです。学食運営業者にも知恵を絞っていただき、学生へ安全かつ美味しい食の提供を依頼しております。

【問】 学食の値上げを抑制してほしい。

【答】 ひとつ前の質問と同様に、学食の値上げについては、社会情勢と連動するところは否めないものの、引き続き学生の負担を軽減できるよう善処していく所存でございます。具体的に申し上げますと、現在食堂の学生向け価格は、外部向けの一般通常価格から8割弱の価格で提供しています。さらに学食のメニューにおいて、日替わり定食（パラエティールランチ）については、期間と数量限定ではあるものの、学生の家計支援を目的に、助成を行っています。パラエティールランチの通常価格は「720円」で提供していますが、大学の助成で、学生限定で「400円」で提供しているところです。併せて松苓会（同

窓会）と父母会がそれぞれ助成する形で、安価でボリュームのあるお弁当を「200円」で販売しております。授業実施期間中の数量限定であり、すべての学生が十分に購入できる数量とはいきませんが、今後も数を増やして販売できるか、あるいは抽選形式にするか等、いくつかの改善策を検討していきます。

【問】 NishoUNIPAの出欠管理について、システム上で出欠を確認したところ、出欠を取っていない授業科目であるにも関わらず、すべて「欠席」の表示が出ていることがある。これはどういうことか。

【答】 システムで出欠のボタンを押す必要がない科目であるにも関わらず、学生の誰かが「出席」を押してしまうと、その反作用でボタン操作をしていない学生が、すべて「欠席」表示されてしまうことが確認されています。もちろん教員は出欠ボタンの可否で確認していないため（別途、課題の提出等で出欠を確認している等）、学生および保証人の皆さまは不安に思うかと存じますが、きちんと教員側で把握できておりますのでご安心ください。解決策については検討中です。

【問】 昨年度の地区別父母懇談会（九段会場）で、個別相談の場を設けていただいたが、自分の前の順番の方の相談が非常に長くなり、長時間待機する形となり懇親会の参加時間が十分に確保できなかったのを改善していただきたい。

【答】 今年度も、8月8日（土）に懇談会開催を予定していますが、今回のお申し出を反省点として、同様な事態が発生しないように改善します。

【問】 台風等の影響による休講判断の基準について教えてほしい。

【答】 基本的には午前6時・正午の警報（暴風警報等）の状況を基準としています。昨今では、その時々々の気象予報（台風の予想進路や大きさ、警戒レベル4相当の予報等）を判断材料とすることもあります。また小中高と異なり、大学はかなり遠方から通学する学生もいることでもありますので、前日等の早目の段階で休講等の判断が出る場合もあります。決定次第、迅速にNishoUNIPAで休講連絡等を行うことで、学生の混乱を未然に防ぐようにしているところでございます。

【問】 保証人用のNishoUNIPAの案内通知を早めにいただけるとありがたい。

【答】 学生には4月初旬の段階で通知を行っていますが、保証人向けにもなるべく早い段階で周知できるよう検討致します。

編集後記

『父母会報』第一三三号をお読みいただきありがとうございます。暑さ厳しい日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

六月に二〇二六年度父母会定期総会が開催され、多くの父母の皆様にご出席いただきました。心より御礼申し上げます。今年度は五名の新生一年生役員も加わり、新たな体制で活動をスタートいたしました。役員一同力を合わせ活動してまいります。

さて近年、物価高や社会情勢の変化、生成AIをはじめとする情報技術の急速な発展など、私たちを取り巻く環境が大きく変わっています。そのような中で学生たちは二松学舎大学での学びや人との交流を通じ、自ら考え判断する力や、多くの経験を積み重ねることで、将来に向けて力を蓄え、成長をしています。

父母会として、学生の為に何ができるかを考え、その歩みを温かく見守り応援してまいります。

『父母会報』を通じて、大学や学生の様子、父母会の活動についてお伝えしてまいりますので、保証人の皆様におかれましては、ぜひご一読いただければ幸いです。

今後とも、父母会活動へのご理解ご協力を心よりお願い申し上げます。